

企画総務委員会 送付 28-13

(仮称) 区立麴町仮住宅建設 (平河町二丁目) の再考を求める陳情

受付年月日 平成28年11月28日

陳 情 者

陳情書

(趣旨)

先月10月19日、旧麴町保健所に地上41メートルの仮区営住宅が建設されるという説明会が開かれました。仮住宅といっても、実際は恒久的に使える公営住宅建設とすることについて、地域住民の意見を聞くことは一切なく、住民はまったく蚊帳の外でした。

区は、口頭説明で四番町区営住宅53戸の建て替えのためと説明していますが、実際は、区営四番町アパート38戸と千代田区営四番町住宅16戸のためのものです。しかし、区営四番町アパートは多額の税金を投じて数年前にアスベスト除去工事、昨年全館の床、トイレ、洗面台、下駄箱、換気扇、配管を新品に交換、照明もLED化をし終わったばかりで、区営四番町アパートの有志から区長宛てに「税金を無駄にしない様に建て替え計画を急がないで欲しい」との要望書が提出されているとのこと。修繕が終わったのは昨年です。耐用年数の半分も経っていない四番町アパートまで建て替えるということに、住民が疑問に思うのは当然です。

麴町大通りの北側エリア迄は公共施設である図書館、出張所、区民集会室等がありますが、麴町大通りの南側である隼町、麴町四丁目、五丁目、六丁目、平河町、紀尾井町、永田町、霞が関、日比谷、内幸町、丸の内、有楽町、大手町に至るまで公共施設は日比谷図書館があるのみです。ここ数年このエリアは高層マンション化が進み住民も増加してきました。このエリアに公共施設がない事は千代田区全体のバランスからみても偏っていると云わざるをえません。

旧麴町保健所跡地には是非、区民に役立つ施設を建設していただきたいと思っていた矢先、15~20億円相当の税金を投入し、当該四番町アパートの皆様の不安も置き去りのまま、平河町に高層な仮区営住宅を建て、四番町に完成後は仮麴町区営住宅の用途不明のままに進められるということについて、区民目線での見直しをぜひお願いいたします。

(主旨)

- 1) 四番町区営住宅及び区営四番町アパートの建て替えの為に高額な税金をかけて仮住宅を建設するより、民間住宅を借り上げて住んで頂く方が、至近距離での確保が可能であり経費節減になります。居住者全員が一括での仮住まいを望んでいるわけではありません。
- 2) 近隣住民や、区営住宅当事者の声を聴かず、多額の税金を投入する計画をこのまま進めないでください。
- 3) 仮区営住宅としての役目終了後の用途が不明である事は高額な税金の使い道としては許されません。用途を区民から広く募集し、決定してから建設すべきです。

昨年 11 月に四番町アパート入居者への説明会では仮麴町区営住宅の四番町住宅の為の役目終了後は順次、老朽化した区営住宅の仮の住宅になるとの説明があったとの事。一方、平河町の説明会では役目終了後の用途は不明で変更可能と説明しており区の説明には矛盾があります。

- 4) 尚、仮麴町区営住宅予定地付近で進む民間の建設計画は、全て低層な計画に抑え近隣に配慮しています。

例:砂防会館本館 7 階、高さ 30.63M((旧本館は 3 1 M 北野アームス 31M 以下の予定)

これ以上、風害を増大させない為にも新たに建てる公共施設は近隣の民間建築物と同様にして下さい。

この計画は一旦立ち止まり、(もしくは白紙撤回し)地域住民も公平に利用出来るメリットのある近隣の環境にも優しい公共施設が建設される様に地元住民及び区民の声を反映して頂きたいとお願い申し上げます。

平成 2 8 年 1 1 月 2 8 日

千代田区議会議長 戸張 孝次郎 殿